

令和5年度第3回成田警察署協議会

1 開催日

令和5年12月12日（火曜日）

2 開催場所

成田警察署

3 出席者

・協議会委員 9人 ・警察署 15人

4 業務報告

- (1) 令和5年11月末現在の犯罪情勢について
- (2) 令和5年11月末現在の交通事故発生状況等について

5 警察署からの諮問事項

なし

6 委員からの要望・意見等

- (1) 【意見】 交番勤務員不在時の対応について

【回答】 交番勤務員の他に、交番には経験豊富な元警察職員であった交番相談員が配置されております。また、管内にはパトカーも配備されており、迅速的確に対応できるよう体制を整えています。

- (2) 【意見】 大麻グミが世間を騒がしているが、これら大麻類似物質等に対し、警察はどのように対処しているのか。

【回答】 大麻グミに含有されていると言われている成分（HHCH）については、12月2日に法改正がなされ規制対象薬物に指定されています。

薬物事件の被疑者の多くが若年層であり、各種法令を適用しての検挙活動に努めています。また、あわせ乱用防止に向けた広報啓発活動を行っています。

- (3) 【意見】 高齢ドライバーによる事故が、社会問題となっている。これに対し、警察としては、どのように対応しているのか。

【回答】 交通安全教室等を通じて、高齢者の方々には、自身の認知機能の低下について実感してもらっています。更に現在所有している自動車に後付けできる『誤発進防止装置』の紹介なども行っています。

- (4) 【要望】 高齢者の運転免許証自主返納が進むよう、返納しやすい環境作りに向け警察からも自治体等に働きかけを行って欲しい。

【回答】 各自治体が開催する地域公共交通会議等に積極的に参画し、必要な意見・助言を行っております。引き続き、各自治体等と協力し高齢者が運転免許証

を返納しやすい環境作りに努めて参ります。

(5) 【要望】 わかりにくい歩車分離式信号機（右直分離式信号機）について、そのメリット・デメリットについて説明頂きたい。

【回答】 歩車分離式信号機の特徴としては、主に歩行者と自動車の事故が物理的に発生しないというメリットと待ち時間が増加するとのデメリットがあります。

質問のあった信号機は、安食小学校の通学路にあたる場所に設置されており、歩行者の安全対策として運用しているものです。ご理解のほどよろしくお願ひします。

(6) 【意見】 アメリカ合衆国では、ヘロインの約50倍の効能があると言われる合成麻薬「フェンタニル」が蔓延し、過剰摂取による死者も多数出ている。いずれ、日本にも入って来るものと考えられるが、これに対し成田警察署としてどう考えているか。

【回答】 成田警察署は、日本の玄関口である成田国際空港を直近にもつ警察署として日本の触覚的役割があるものと考えています。

署員に対しては、常日頃からグローバルな視野をもち業務に当たるよう指導しています。

7 答申等に対する措置結果

なし

8 その他

会議前に機動隊にて訓練の視察を実施した。